

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公開番号】特開2010-260851(P2010-260851A)

【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2010-84827(P2010-84827)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/335 (2006.01)

A 6 1 K 9/16 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 31/335

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月20日(2010.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

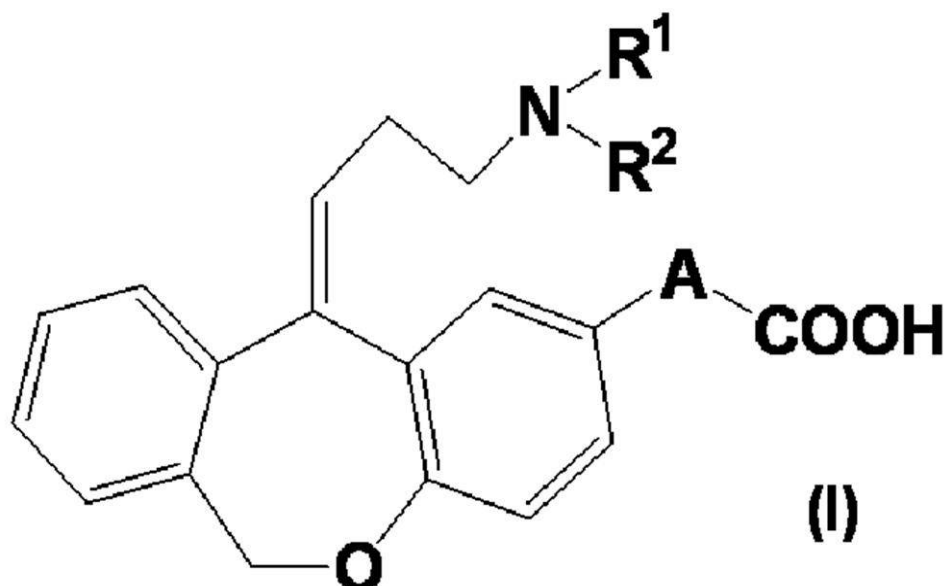
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) 式(I)



[式中、Aは、単結合、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ または $(\text{CH}_2)_n-$ (式中、 n は1~3の整数を表す)を表し、 R^1 および R^2 は同一または異なって水素または低級アルキルを表すか、または隣接する窒素原子と一緒になって複素環基を形成する]で表されるジベンゾ[b,e]オキセピン誘導体またはその薬学的に許容される塩、(ii)酸化鉄、ならびに(iii)糖、デンプン、デンプン誘導体、セルロース、セルロース誘導体および糖アルコールから選ばれる1以上を含有する薬物含有顆粒を含有し、該薬物含有顆粒中のジベンゾ[b,e]オキセピン誘導体またはその薬学的に許容される塩の量が、該薬物含有顆粒の量100質量部に対して0.1~30質量部であり、該薬物含有顆粒中の酸化鉄の量が、該薬物含有顆粒中のジベンゾ[b,e]オキセピン誘導体またはその薬学的に許容される塩の量1質量部に対して0.01~1質量部であり、該薬物含有顆粒内で(i)~(iii)が混ざり合っている、固形製剤。

【請求項2】

さらに、(iv)酸化鉄、ならびに(v)糖、デンプン、デンプン誘導体、セルロース、セルロース誘導体および糖アルコールから選ばれる1以上を含有する酸化鉄含有部を含有し、該酸化鉄含有部内で(iv)および(v)が混ざり合っており、固形製剤に含有される酸化鉄の量が、薬物含有顆粒中のジベンゾ[b,e]オキセピン誘導体またはその薬学的に許容される塩の量1質量部に対して0.01~6質量部である、請求項1記載の固形製剤。

【請求項3】

薬物含有顆粒が、前記ジベンゾ[b,e]オキセピン誘導体またはその薬学的に許容される塩、酸化鉄、ならびに糖、デンプン、デンプン誘導体、セルロース、セルロース誘導体および糖アルコールから選ばれる1以上を造粒して得られた薬物含有顆粒である、請求項1または2記載の固形製剤。

【請求項4】

酸化鉄が、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄またはそれらの組み合わせである、請求項1~3のいずれかに記載の固形製剤。

【請求項5】

薬物含有顆粒が、酸化チタンを含まない薬物含有顆粒である、請求項1~4のいずれかに記載の固形製剤。

【請求項6】

固形製剤が、ドライシロップまたは口腔内崩壊錠である、請求項1~5のいずれかに記載の固形製剤。